

第3回社保協総会＆学習講演会を開催

50人が参加し議案を採択



開会のあいさつをする共同代表の森下秀一さん

「みんなファーストの社会に向けて くらしファーストの政治をつくろう」

第2部は、石川康宏先生（神戸女学院大学名誉教授）から、「みんなファーストの社会に向けて くらしファーストの政治をつくろう」というテーマで講演していただきました。

参院選挙で「日本人ファースト」がなぜウケたのか、参政党が得票を増やしたのは「貧困と格差」「自己責任」論では限界がきていること、若者世代の生活改善の願いの受け皿に参政党が選択肢になったとデータで示して説明されました。私たちの活動が若者世代には視野に入っていないというのです。

日本の幸福度は「世界55位」！

一方、世界の社会保障について、日本との違いも

10月11日、八幡社保協の第3回総会を開きました。構成団体から50人の参加がありました。第1部は、1年間の活動や会計報告をおこない、今後の方針、予算、役員体制を決めました。討論では、「違憲判決がおりた生活保護の基準引き上げについて」「府や八幡市への要望が実り、ラ・ムー前の交差点に音声式信号機が設置された」「新婦人で助け合いの活動や介護の学習などをしている」「市の地域公共交通再編案に意見をあげよう」という4人の方から発言がありました。

話されました。日本より「幸福」な国は54か国もあります。世界第2位のデンマークは、4時に退社、週の労働時間の上限は37時間、最低賃金は2538円、子どもの最低賃金（バイト代）は1690円だそうです。学費ゼロ、医療・介護の負担もゼロです。日本でも軍事費ばかりに税金を使うのではなく、社会保障を充実させるために政治を変えようと結ばれました。

参加者からは「とてもわかりやすいお話を」「若者への影響を及ぼす運動をどうやって進めるのか中高年齢者としては考えさせられた」「論破ではなく、共に考えようという姿勢を前面に、話は短く」などたくさんの感想が寄せられました。

八幡市へ要望書を提出

10月3日、八幡社保協として要望書をまとめ、八幡市長に提出しました。

医療・介護・くらし・障害者・高齢者福祉をはじめ・公共交通問題、教育と子どもを守る立場、中小企業・営業・環境に関わる社会保障推進を求める要望書を56項目にわたって、重点要望書として提出しました。11月26日に市と懇談を予定しています。

署名に足を止めた方から、年金、医療問題など不安が次々に話されました。
年金者組合が支給日に宣伝
子育て応援署名に協力を
毎年、12月議会に向けて、3
〇入学級や先生の増員、給食費無
償化、小児救急診療の拡充を求
る請願署名に取り組んでいます。
ご協力よろしくお願いします。

